

学校訪問シリーズ 119

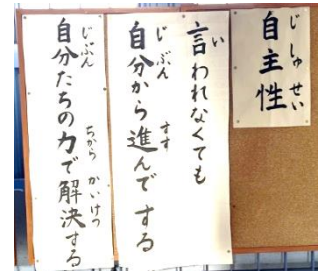
大分市立 鴛野小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「自主性を高め、協働して問題を解決し、自己実現をめざす子どもの育成」を達成するため、学校全体で育成を目指す資質・能力を「自主性」と定め、それぞれ資質・能力の3つの柱を意識した重点目標を設定し、進行管理を行っています。授業改善のテーマも「自分の考えを伝え合い、主体的に深く学ぶための意見交流の充実」として、日々の授業を通じて「自主性」を育成しようとしています。

今後は「自主性」について、低、中、高学年においてどのような姿になればよいのか等を熟議を通してイメージすることで、それぞれのチームの連携が強まり、より組織的な取り組みが行われると思われました。

令和4年度 学校経営方針			
校訓	おもいやりのある子 しんけんに考える子 のびのびと元気のいい子		
学校の教育目標	自主性を高め、協働して問題を解決し、自己実現をめざす子どもの育成		
学校全体で育成を目指す資質・能力	自主性		
資質・能力の3つの柱	学び合い、知識及び技能の習得	未知の状況に対応できる思考力・判断力・実践力の育成	学び終えた社会にも活かせる「学びの力」の育成
めざす子ども像	基礎・基本を身につけた子ども	健康について考え、そのために進んで行動する子ども	目標に向かって、進んで学ぼうとする子ども
重点目標	教科に関する知識・技能の習得	健康のための思考力と実践力の育成	進んで学ぼうとする態度の涵養
めざす学校像	【働き方改革】 教育効果を高めるため、効率的・組織的な取組を推進する学校 ○職務環境整備と業務縮減	【チーム業務】 児童の背景を捉え、情報交換を密にし、組織的に改善のために努力する学校	【地域とともにある学校】 家庭・地域と目標を協働して達成する学校 ※R5年度コミュニティ・スクールへ移行
	「活きたカリキュラム」として、率先垂範する教職員		未知の課題に立ち向かい、協働して解決しようとする教職員
	全職員で児童への切れ目のない指導を行い、支え続ける教職員		



授業から学ぶ

子ども達は意欲的に参加し多くの声が響く授業が展開されていました。

今後は、子どものつぶやきを拾いつつも、発言をさせる際は起立させて行ったり、聴く時の姿勢を徹底させるなどメリハリをつける良いと感じました。また、学び合いの場では、子どもを俯瞰的にみながら形成的に評価することで、次への活動に活かされると良いと思いました。



NO.619 2022年12月 大分市立鴛野小学校

相手軸で

何を一番伝えたいか？そのために、どんな工夫をすると良いか？相手がやる気になるためには？プレゼンは相手軸で考える。



NO.616 2022年12月 大分市立鴛野小学校

音を消す

先生の指示を聴くときは、教室から音が消える。みんなが課題を理解するから、これからの活動が楽しくなる。



NO.617 2022年12月 大分市立鴛野小学校

おもいやり

学び合うときは、相手と自分の目線の高さを揃える。協力しやすくなるから、学びが深まる。



NO.620 2022年12月 大分市立鴛野小学校

しんけんに

「今日は何を学んだかな」「どうすればできたかな」「またやってみたいな」ふりかえりは、成長を感じる時間。



NO.618 2022年12月 大分市立鴛野小学校

のびのびと

自分の考えを伸び伸びと発言する。しかし、教室は公の場だから起立して、わかりやすく、丁寧な言葉で話します。